

農福連携等応援コンソーシアム設立に当たっての 河野農林水産大臣政務官からのメッセージ

農福連携は、障害者の皆さんに農業で活躍してもらい、自信や生きがいを持って社会に参画していただくための取組です。そして、担い手不足や高齢化が進む農業分野において、働き手の確保につながるものであるとともに、共生社会の実現にも貢献するものです。

私自身も、先日、福井県あわら市の「特定非営利活動法人 ピアファーム」を訪問し、知的障害者の利用者の皆さんを中心に、日本ナシとブドウの生産や、これらの果実を用いた加工品の製造、農産物直売所の運営といった6次産業化に取り組まれている状況を拝見してまいりました。

こちらの法人では、手作業を多くすることで障害者の皆さんの作業を創出するとともに、これにより農産物の高い品質を維持していること、また、障害者の皆さんが生き生きと作業している様子に大変感銘を受け、農福連携の重要性を改めて認識したところです。

この農福連携について、内閣官房長官を議長とする省庁横断の農福連携等推進会議が取りまとめた「農福連携等推進ビジョン」においては、「広がっていかない」という課題に対応するため、「国民的運動として農福連携を進めるための機運を高める仕掛けとして、各界の関係者が参加するコンソーシアムを設け」とされていたところです。

本日、経済団体や地方団体、農林水産業団体、福祉団体など多くの皆様の御賛同を得て、「農福連携等応援コンソーシアム」が設立される運びとなったことは、大変画期的なことでもあります。

今後、このコンソーシアムが農福連携を国民的運動として推進するための基盤として、「ノウフク・アワード」選定による優良事例の表彰・横展開等を実施するなど、大いに発展することを期待しております。

コンソーシアムに御参画いただく各団体の皆様におかれましては、それぞれのお立場から、この農福連携の取組を後押ししていただくようお願い申し上げます。

結びに、農福連携に関わる各団体の皆様の益々の御活躍・御健勝と、農福連携の取組がさらに発展し、広がっていくことを祈念申し上げます。コンソーシアム設立に当たってのメッセージといたします。

令和2年3月13日

農林水産大臣政務官 河野 義博